

草津市立矢倉小学校通信 令和4年4月11日 NO.1



# やぐら通信

～ひとみキラキラ豊かな心と体の矢倉っ子～

新生児88名を迎え、令和4年度（2022年度）がスタートしました。

陽春の候、保護者、地域の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今年度は88名の新生児を迎え、矢倉小学校は全校児童538名となりました。始業式・入学式では、「出会いの4月、新しいスタートは人とのつながりを大切にしよう。」と矢倉小で大切にしている3つ（「①あいさつ」②「なかま」③「まなび」）の話をしました。

①「あいさつ」でつながろう。

「おはよう」の一言で、元気な「おはよう」がかえってきたら・・・大丈夫！でも、返事がなかったり、元気のない「おはよう」だったら・・・大丈夫かな？心配になったら声をかけてみよう。あいさつで相手のことが少しわかります。もっと知りたいなと思えたらいいね。

②「ありがとう」「ごめんなさい」がちゃんとと言える人になろう。

自分のために何かをしてもらったら「ありがとう」。困らせてしまったり、悲しませてしまったりしたときは「ごめんなさい」。ちゃんとその時に言えたらいいね。その時言えなくても後になって「ありがとう」「ごめんなさい」の気持ちをちゃんと言えたらいいね。

③安心して過ごせる楽しい学校なら勉強も運動もおもいきりできる。

勉強するといろんなことがわかってきます。わかると勉強がもっと楽しくなるね。と話しました。

教職員には、教職員一人ひとりの個性を大切にしながら、皆が同じ方向を向いて「児童も教職員も楽しい学校 保護者や地域の方々が安心できる学校」をチーム矢倉（児童・教職員、保護者、地域）で創っていこう。と話しました。

まだまだ先の見えないコロナ禍ではありますが、今だからこそ何ができるかを考え、状況を確認しながら、子どもたちの学びが止まることのないよう取り組んでまいります。

この学校通信「やぐら通信」により、学校の様子を定期的にお知らせしていきますので、引き続きご愛読いただければ幸いです。保護者や地域の皆様には、1年間、何卒ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます



校長 石井 千鳥